

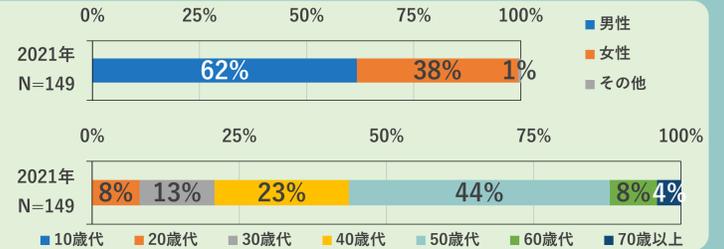
飯能市におけるノーマイカーデーの継続実施と乗合ワゴンの導入に関する報告

飯能市の公共交通の現状

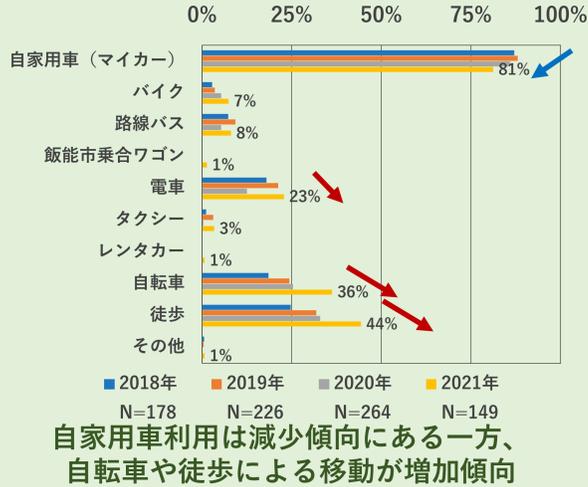
- 飯能市では、2018年3月に「飯能市地域公共交通網形成計画」を策定し、2022年1月に同計画を「飯能市地域公共交通計画」として一部改訂した。2022年度には、次期地域公共交通計画を策定予定である。
- 飯能市の公共交通は、人口減少、マイカー中心のライフスタイルの定着、新型コロナウイルス感染症の影響等により利用者が減少している。
- 路線バスをはじめ既存の公共交通を維持・確保しつつ、新たな移動手段の導入を進めている。その一環として、2021年3月から乗合ワゴンの実証運行を開始し、2022年1月からは本格運行している。

「2021はんのお市ノーマイカーデー」の取り組み

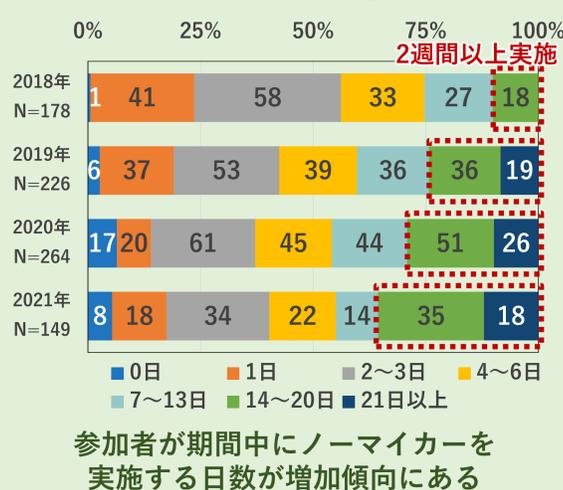
- 実施期間：2021年12月1日～12月31日まで1カ月間
- 参加者数：227人
- 事後調査：アンケートにより、ノーマイカーデー実施結果等を分析



普段利用する移動手段



ノーマイカー実施日数

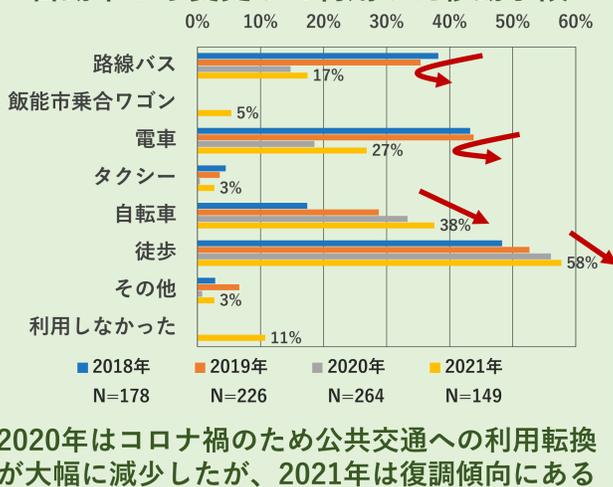


ノーマイカーデーの取組周知

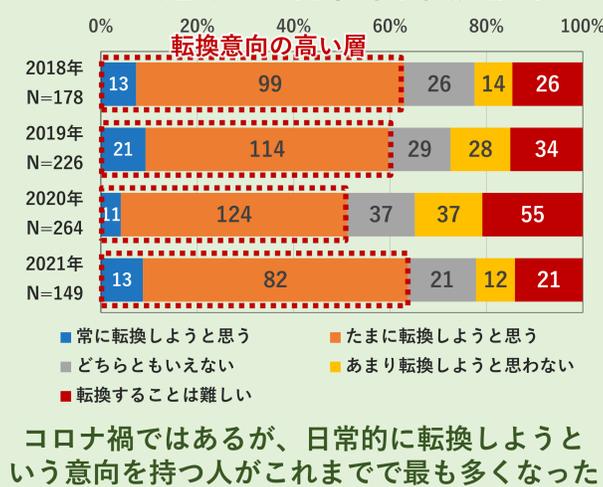


国際興業（株）の協力のもと取組周知のため路線バスの表示板を活用

自動車から変更して利用した移動手段



公共交通等への日常的な転換意向



ノーマイカーデー参加者によるCO₂排出削減効果（年間換算）



ノーマイカーデー参加者227人分のCO₂排出削減効果は、約10人分の家庭部門CO₂排出量に相当

- コロナ禍ではあるが、自転車・徒歩による移動や、ノーマイカー実施日数が増加傾向にある。
- 公共交通等への日常的に転換しようという意向もこれまでで最も多くなっており、過年度からの継続的な取り組みの成果が見られたと言える。
- コロナ禍においては、公共交通における感染予防の取り組みを市民に伝え、利用に繋げることが大切である。

飯能市乗合ワゴン「おでかけむーま号」の導入

「おでかけむーま号」の導入経緯

- R3.3 ○ 飯能市東部の移動手段を確保するために、乗合ワゴンの実証運行を開始（運行日：週3日/月・水・金）
- R3.12 ○ ノーマイカーデーと連携して、無料乗車企画「乗合ワゴンに乗ってみようキャンペーン」を実施
- R4.1 ○ 愛称を「おでかけむーま号」として、本格運行を開始（運行日：週3日/月・水・金）



「おでかけむーま号」の1便当たりの利用状況

